

10年目に突入した恒例の冬季筋トレは豪華絢爛な町営の施設を利用する。まずランニングマシンで軽く全体を慣らし、その後、メジャーリーグ養成ギブスのようなマシンで腰をグイグイ、足をピクピク、両手両腕は軽やかに前に後ろにピストン運動させる。そんな自分に鞭打ち、仕上がっていく肉体美にほれ込んでしまうことがイヤらしく感じるこの季節が大好きだ。

日付重視の恨みすらみ行動

年末に近づくといつも思い出すことがある。12月23日はクリスマス・イブ・イブであることは、実生活と宗教に関連性をあまり持たない日本人にも大切な日である。この日はシンガーソングライターの上崎まさよし、女優の矢田亜希子、歌手の庄野真代の誕生日であるとともに、国民が祝うべき第125代である今上明仁天皇の誕生日でもある。その天皇が激務のため生前退位を決め、政府もそのご意向に沿う方向性だ。

次の天皇は現皇太子になることは、それはそれで喜ばしく肅々と行事は進むのだろうか。ではアメリカとの関係はどうなるのか？ 以前も書いたが通称、東京裁判で死刑判決を受けた7名の男たちは、現在のプリ

ンス・ホテルとなった巣鴨プリズンにて、12月23日0時1分30秒に処刑が始まった、と記録にある。アメリカの明らかなメッセージを感じる。昭和天皇は生かしておくが、息子（現天皇）が天皇をやっている間は、日本はアメリカの影響下だ、本当にお祝いでできるかよく考えろ、ということなのだろう。

ウイキペディアによると終戦の年に占領軍GHQは、プロパガンダ作戦を開始した。よりによって開戦日12月8日を選んで10回シリーズで、太平洋戦争史なるものを全国の新聞紙上に載せ、日本は悪い国だ、と日教組が喜ぶ戦後教育を始めた。さらにさかのほればマレー半島、シンガポール、フィリピンで活躍し、マレーの虎の名を知らしめた陸軍大将の山下奉文も戦後は戦犯として裁かれることになった。死刑判決はアメリカの開戦日と同じ12月7日だった。まだある。5月3日は憲法記念日であり、1946年のその日に東京裁判が開廷していた。

Vol.115 ヤラレたら、やり返す!



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

日本も負けてはいなかった。マッカーサーは帰国後、アメリカ国民からヤンの大喝采を浴びることにしたが、この世の習わしに従い時が経つと、その人氣は凋落の一途をたどった。その時に戦艦ミズーリで降伏文書にサインした9月2日と同じ日に、意気消沈のマッカーサーを、時の外務大臣が慰めにアメリカに行ったとされる。となると北朝鮮と一戦を

オレにも 言わせる!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

交えるのは69年にアメリカ海軍の早期警戒機が公海上でミグ17に撃墜され、31名全員が海の藻屑となった4月15日になるのか? そんなに待てないだって、ではシバレル(寒い)冬に北の軍人を確保するのか? 68年に公海上を主張するアメリカ諜報関係の船舶が北の襲撃に遭い1名死亡、82名が囚われの身となった1月23日に何かを起こすのか。しかし平昌オリンピックが近いので、どうなるのか。

これを書いているときは間に合わないが、トランプ大統領が極東訪問時に何か軍事作戦を行なうのか(行なったのか)。もしかして半島の安定に電撃的にロシアが介入する可能性も排除できない。中国では? いえ、北のロシアです。雪が降らない南の文化圏の方は分からないかもしれませんが、必ず北の文化圏が強いのです。その辺のことは改めて。

第一次世界大戦からのヨーロッパでも日付重視の恨みつらみ行動は行なわれた。たぶんキリスト誕生前から行なわれた復讐の歴史は肌身にしみているのだろう。アメリカは昔からヤラレたらやり返す不屈の精神の持ち主である。バカにしているわけではない。相手と戦うときは勝った、天皇陛下バンザイだけでは意味がなく、その仕返しも含めて戦わなく

てはいけないということから現在、そして将来の軍事行動の貴重な模範となって教示してくれる。

カレーライスに肉は入っていないかった

ヒール・ミヤイさんは我々と同じ反米主義者ですか? いいえ、違います。父がまだ旧制中学生だった45年は大冷害だったそう。その後も冷害が続いたと聞く。その当時から北海道の食をまかなってくれたのはアメリカだと父は言っていた。

家庭料理の定番であるカレーライスは存在していたが、肉は入っていませんでした。家では当時鶏を飼っていたので必要に応じてサバイていたが、何か特別な日くらいしか肉を食すことはなかったよう。そのカレーライスに豚肉が入ったのは55年になってからで、牛肉はもっと遅くて70年くらいになる。このように肉が普通に食卓に並ぶように日本の畜産業を発展させてくれたのはアメリカの穀物のおかげだ。だから「アメリカに感謝している」とマジ顔で私に言うのだから、その息子が反米になるはずがない。

長沼の小・中学校で、行事で日の丸を揚げず、君が代を歌わず、起立するのは校長と教頭だけであって長沼の親たちは放置する。選挙が

近づくと先生から「親には共産党に入れるように!」と正統派の真っ赤な洗脳教育を多くの同級生は受けたが、私は「こいつらはおかしい!」と子ども心にもすごい違和感があり、決して尊敬の対象ではありえなかった。普通に、この世の中にアメリカ嫌が多いことに辟易する。

子どもたちをバカに育てるメリットはなんだ?

どこの中学3年生が社会の時間に先生から「アメリカ軍が長沼に来ることに賛成な生徒は?」と問われた。そのどこの中学3年生は、たった一人がスツと手を上げた。その生徒は「えつ、オレ一人だけ?」と言ったそう。皆からは冷たい視線をガン感じたそうだが、手を下げることはなかったと語った。みんなが反対な理由はたくさんあるのだろう。こんなことは私が幼いころからずーっと続けている。アメリカ軍が……ではなく自分を信じて手を上げた。続けた、どこの中学3年生を褒め称えたい。さぞかし素晴らしい親の影響を受けたのであろう。ちなみに理科の授業では先生から「組み換え作物は安全ではない」と間違った教員を刷り込まれているのだから、多くの子どもたちが将来習った記憶を変えることはできないだろう。それ

にしても今まで普通の社会人で、アメリカが好きですか? とか、アメリカの存在なしでは日本の繁栄はありません」と発言した人に直接会ったことがない。祖国日本で生まれ育ち、反日人になり、アメリカに国防、食料を70年以上も依存して「組み換え作物はんたーい!」だって? あなたや私がバカなのは仕方ないが、その子どもたちをバカに育てることのメリットはなんだ。日本の農業はどのように発展するのだろうか。

組み換えはやはりダメなのか?

将来、ある技術を使い、耐冷性の稲の遺伝子を見つけ、既存の稲に入れ遺伝子を編集できたり、たまたま散布したラウンドアップに耐性を示した大豆の遺伝子を国産大豆に編集できて、これは遺伝子組み換えではないと、世界が認めても日本の一部の消費者とシンパシーが合う生産者はまた「はんたーい!」と言うのか。

重要なことは法律的に、遺伝子組み換えである」ということなのか。今までのやり方だけでは今までの結果になることは当然だ。私が中学生の時にある先生が「今までなかった技術革新で発生した問題はどのよう

に解決されるのか?」の問いに答えられた生徒は皆無だった。先生は言った。「技術革新の問題は技術革新で解決される。それは永遠に続く」